

# 第104期 中間事業報告書

平成18年4月1日～平成18年9月30日



# ツガニ は常に世界No.1の 高精度 高速 高剛性の 工作機械を提供し続けます。



## 株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととご拝察申し上げます。

さて、当社第104期中間期（平成18年4月1日から平成18年9月30日）の営業の概況等につきましてご報告申し上げます。

当期におけるわが国経済は、製造業を中心に民間設備投資が堅調に推移しております。

工作機械業界におきましても、自動車関連産業、IT関連、一般機械と幅広い業種で設備投資が行われ、工作機械業界全体の受注実績は引き続き高水準を維持しております。

このような状況の下で、当社は長年培った精密加工のノウハウをもとに、環境・省エネ・安全対応が求められる自動車関連、更に高精度化するIT関連、およびその他の業界のニーズに応える精密加工機械を引き続き提供するとともに、各種新製品を市場に投入してまいりました。また、新製品を始めとした当社製品の、国内外の展示会への出品、直接ユーザーへのPR等、積極的な販促活動を行ってまいりました。

生産面でも、前年度に実施いたしました長岡・信州・中国の新工場建設と生産子会社も含めた生産能力増強投資により構築いたしました新生産体制の本格稼動と、部品の内製化・ユニット化等の一層の取り組みにより、生産性の向上とコストダウンに努めてまいりました。

これらの結果、第104期中間期（連結）の売上高は、前年同期比9.5%増の18,489百万円、経常利益は、前

年同期比10.4%増の2,950百万円、中間純利益は、前年同期比55.3%減の1,730百万円となりました。これは前年は特別利益の計上があったこと、並びに今年度は税務上の控除がなくなり通常の税負担となったためであります。

株主のみなさまには、上記のとおり順調な業績を収めることができましたので、中間配当は1株当たり4円とさせていただきます。

期末配当につきましては、1株当たり4円の普通配当に加え、創立70周年の記念配当として1株当たり2円の上乗せ（年間配当は合計10円）を予定しております。

今後の配当につきましては、業績連動を基本とし、企業体質の強化を図りながら、安定配当を維持してまいりたいと考えております。

当社といたしましては、引き続き自動車関連業界、IT関連等に対し新製品を提供するとともに、アジア・欧米をはじめとする海外市場の拡充を図る等、グループを挙げて一層の企業体質の強化と収益力の向上に取り組んでまいり所存であります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年12月

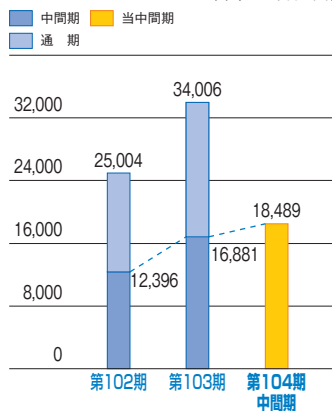
取締役 社長執行役員

西嶋尚生

# 業績の推移

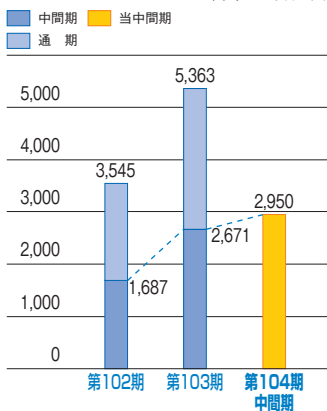
## ● 連結売上高

(単位：百万円)



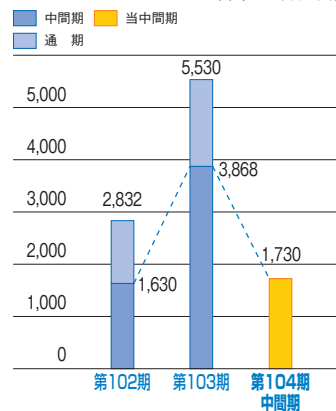
## ● 連結経常利益

(単位：百万円)



## ● 連結中間(当期)純利益

(単位：百万円)



## ● 営業成績および財産の状況の推移

区 分	第103期中間期		第103期		第104期中間期	
	連 結	個 別	連 結	個 別	連 結	個 別
売 上 高 (百万円)	16,881	16,522	34,006	33,262	18,489	18,123
経 常 利 益 (百万円)	2,671	2,550	5,363	5,016	2,950	2,757
中間純利益または当期純利益 (百万円)	3,868	3,798	5,530	5,333	1,730	1,675
1 株 当 たり 中 間 純 利 益 ま た は 当 期 純 利 益 (円)	50.08	49.18	71.38	68.99	22.95	22.21
総 資 産 (百万円)	35,133	34,431	36,827	36,215	35,145	34,472
純 資 産 (百万円)	22,235	21,837	23,272	22,747	23,213	22,648
1 株 当 たり 純 資 産 (円)	289.39	284.22	306.53	299.63	311.67	304.08

(注) 単位未満を切り捨てて表示しております。

# 連結財務諸表

## ● 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当中間期 (平成18年9月30日)	前 期 (平成18年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産	25,020	26,394
現金及び預金	3,922	2,846
受取手形及び売掛金	13,657	14,389
たな卸資産	6,949	7,934
その他	489	1,223
固定資産	10,125	10,432
有形固定資産	7,570	7,036
建物及び構築物	4,489	4,260
機械装置及び運搬具	2,134	1,874
土地	642	642
その他	304	257
無形固定資産	33	17
投資その他の資産	2,521	3,378
<b>資産合計</b>	<b>35,145</b>	<b>36,827</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	10,675	12,168
支払手形及び買掛金	8,279	8,974
未払法人税等	1,146	1,760
その他	1,250	1,433
固定負債	1,256	1,386
<b>負債合計</b>	<b>11,932</b>	<b>13,555</b>
少数株主持分	—	—
<b>資本の部</b>		
資本金	—	10,599
資本剰余金	—	8,011
利益剰余金	—	7,871
其他有価証券評価差額金	—	805
自己株式	—	△ 4,015
<b>資本合計</b>	<b>—</b>	<b>23,272</b>
<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	<b>—</b>	<b>36,827</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	22,581	—
資本金	10,599	—
資本剰余金	7,995	—
利益剰余金	9,150	—
自己株式	△ 5,163	—
評価・換算差額等	602	—
其他有価証券評価差額金	569	—
為替換算調整勘定	33	—
新株予約権	29	—
<b>純資産合計</b>	<b>23,213</b>	<b>—</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>35,145</b>	<b>—</b>

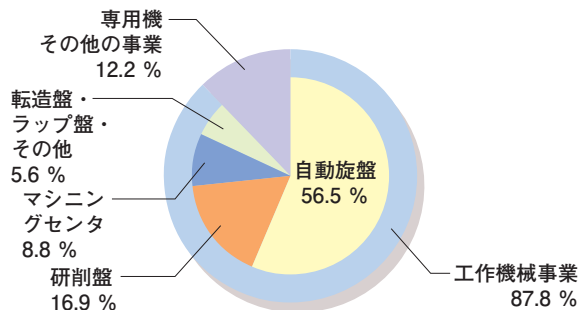
## ● 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

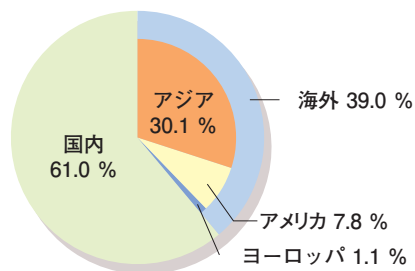
科 目	当中間期	前中間期
	(平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで)	(平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで)
売上高	18,489	16,881
売上原価	13,673	12,690
売上総利益	4,816	4,190
販売費及び一般管理費	1,870	1,528
営業利益	2,945	2,662
営業外収益	55	37
営業外費用	51	28
経常利益	2,950	2,671
特別利益	—	2,483
固定資産売却益	—	2,429
投資有価証券売却益	—	54
特別損失	116	458
固定資産除売却損	47	337
たな卸資産評価損	35	13
移設費用	—	107
その他	33	13
税金等調整前中間純利益	2,833	4,696
法人税、住民税及び事業税	1,095	827
法人税等調整額	8	—
中間純利益	1,730	3,868

## ● 売上高構成比 (連結)

### ● 事業の種類別・機種別売上高構成比 (当中間期)



### ● 地域別売上高構成比 (当中間期)



## ● 中間連結株主資本等変動計算書

(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			新株 予約権	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主 資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成18年3月31日残高	10,599	8,011	7,871	△ 4,015	22,466	805	—	805	—	23,272
中間連結会計期間中の変動額										
剰余金の配当			△ 379		△ 379					△ 379
利益処分による役員賞与			△ 38		△ 38					△ 38
中間純利益			1,730		1,730					1,730
連結子会社増加による利益剰余金減少高			△ 34		△ 34					△ 34
自己株式の取得				△ 1,244	△ 1,244					△ 1,244
自己株式の処分		△ 15		96	80					80
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額 (純額)						△ 236	33	△ 202	29	△ 173
中間連結会計期間中の変動額合計	—	△ 15	1,278	△ 1,148	114	△ 236	33	△ 202	29	△ 58
平成18年9月30日残高	10,599	7,995	9,150	△ 5,163	22,581	569	33	602	29	23,213

# 個別財務諸表

## ● 中間個別貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当中間期 (平成18年9月30日)	前 期 (平成18年3月31日)
資産の部		
流動資産	24,464	25,886
現金及び預金	3,530	2,358
受取手形及び売掛金	13,733	14,253
たな卸資産	6,484	7,442
その他	715	1,831
固定資産	10,007	10,329
有形固定資産	6,725	6,637
建物	3,870	3,958
機械装置	1,901	1,759
その他	953	919
無形固定資産	13	14
投資その他の資産	3,267	3,676
資産合計	34,472	36,215
負債の部		
流動負債	10,706	12,230
支払手形及び買掛金	8,330	9,030
その他	2,375	3,200
固定負債	1,117	1,236
負債合計	11,823	13,467
資本の部		
資本金	—	10,599
資本剰余金	—	8,022
利益剰余金	—	7,335
其他有価証券評価差額金	—	805
自己株式	—	△ 4,015
資本合計	—	22,747
負債及び資本合計	—	36,215
純資産の部		
株主資本	22,049	—
資本金	10,599	—
資本剰余金	8,006	—
利益剰余金	8,606	—
自己株式	△ 5,163	—
評価・換算差額等	569	—
其他有価証券評価差額金	569	—
新株予約権	29	—
純資産合計	22,648	—
負債純資産合計	34,472	—

## ● 中間個別損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	(平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで)	(平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで)
売上高	18,123	16,522
売上原価	13,984	12,830
売上総利益	4,139	3,691
販売費及び一般管理費	1,531	1,202
営業利益	2,607	2,489
営業外収益	222	109
営業外費用	72	48
経常利益	2,757	2,550
特別利益	—	2,487
特別損失	106	458
税引前中間純利益	2,651	4,578
法人税、住民税及び事業税	968	780
法人税等調整額	8	—
中間純利益	1,675	3,798

## ● 中間株主資本等変動計算書

(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)

(単位：百万円)

	株主資本						株主資本 合計	評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	新株 予約権	純資産 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	自己株式				
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金					
平成18年3月31日残高	10,599	4,138	3,884	8,022	7,335	△ 4,015	21,942	805	—	22,747
中間会計期間中の変動額										
剰余金の配当					△ 379		△ 379			△ 379
利益処分による役員賞与					△ 25		△ 25			△ 25
中間純利益					1,675		1,675			1,675
自己株式の取得						△ 1,244	△ 1,244			△ 1,244
自己株式の処分			△ 15	△ 15		96	80			80
株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額(純額)								△ 236	29	△ 206
中間会計期間中の変動額合計	—	—	△ 15	△ 15	1,270	△ 1,148	106	△ 236	29	△ 99
平成18年9月30日残高	10,599	4,138	3,868	8,006	8,606	△ 5,163	22,049	569	29	22,648

## 新製品を市場に投入

### CNC精密自動旋盤 B012/20-V、BE12/20-V、BS12/20-V

スイス型自動旋盤の主力機種であるB012/18-Ⅲ、BE12/20、BS12/18-Ⅲをフルモデルチェンジし加工精度20%向上、加工時間を40%短縮した「CNC精密自動旋盤B012/20-V」と「BE12/20-V」「BS12/20-V」を発表いたしました。

加工主軸速度の大幅向上による切削時間の短縮とアイドルタイム削減による非切削時間の短縮により高生産性を実現します。



### CNC精密自動旋盤 BH20/38

業界で初めて1ポジションドライブ機構を採用した主軸台移動型「CNC精密自動旋盤BH20/38」を発表いたしました。

くし刃刃物台、タレット、背面刃物台の三つの刃物台による同時加工で加工時間を30%短縮しました。

12面タレットに1ポジションドライブ機構を採用し、回転工具の能力を大幅に引き上げるとともに、12面全てに回転工具の取付が可能で、強力切削を行っても熱変位が小さく高精度な加工ができます。



### CNC精密自動旋盤 M42SD

回転工具主軸、背面主軸を標準装備したコンパクトな複合加工機「CNC精密自動旋盤M42SD」を発表いたしました。

主軸リジットタップ機能、回転工具リジットタップ機能を標準装備しました。

12面タレットに6個の回転工具を取り付けることができ、背面主軸と併せて複合加工に対応できます。



### CNC精密自動旋盤 P01

微細精密加工部品の量産加工に最適な専用加工機「CNC精密自動旋盤P01」を発表いたしました。

主軸、背面主軸ともに最高回転速度25,000min<sup>-1</sup>の高速スピンドルを搭載し、小径ワーク加工のための使いやすいソフト機能（刃先芯高さ補正ソフト、主軸ゼロ補正システム）を搭載するなど、半導体用コンタクトプローブ等の直径0.05mm以下の微細精密部品を高速、高精度に加工できます。





## CNC精密ターニングセンタTMB2

高精度小物の複雑形状部品の加工を、段取り替えなしで全加工を実現した主軸固定型ターニングセンタ「CNC精密ターニングセンタTMB2」を発表いたしました。

16面タレット+Y・B軸制御のツールスピンドル+背面主軸で多彩な加工ができ、ATC、ツールマガジンを標準装備し多品種少量生産に対応します。



## 高速精密マシニングターンU300

5面マシニングセンタにU軸機能を標準装備した「高速精密マシニングターンU300」を発表いたしました。

U軸機能により主軸に装着したバイトを径方向にNC制御するので、割り出した全ての面に自在な旋削加工ができます。

垂直10パレットマガジン、120本ツールマガジンを標準装備し、変種変量の長時間無人加工ができます。



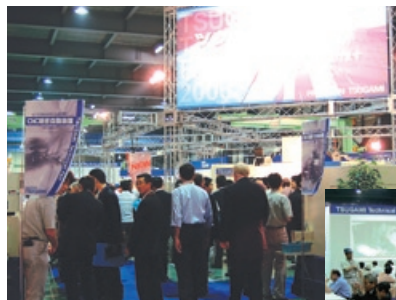
## 展示会に出展

取引先の開拓を積極的に進めてまいりました。

2006年7月13日から2日間、ツガミ長岡工場にてツガミテクニカルフェア2006を開催いたしました。

また2006年9月6日から8日間シカゴ（アメリカ）にて開催されたIMTS2006に出展いたしました。

国内外より大勢のユーザー、ディーラー様に来場いただき、活発な商談を行いました。



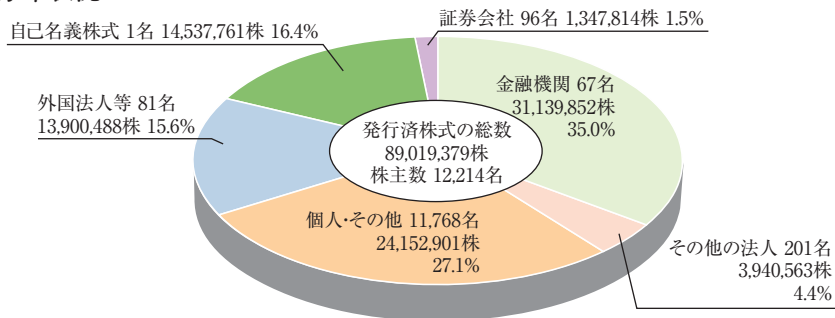
# 株式の状況 (平成18年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 320,000,000株
- 発行済株式の総数 89,019,379株
- 株主数 12,214名
- 大株主

株主名	当社への出資状況		当社の大株主への出資状況	
	持株数	出資比率	持株数	出資比率
	千株	%	千株	%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	8,822	9.91	—	—
みずほ信託退職給付信託東京精密口再信託受託者資産管理サービス信託	4,592	5.15	—	—
資産管理サービス信託銀行株式会社 (証券投資信託口)	2,273	2.55	—	—
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,927	2.16	—	—
バンクオブニューヨークヨーロッパリミテッドルクセンブルグ131800	1,802	2.02	—	—
第一生命保険相互会社	1,800	2.02	—	—
株式会社森精機製作所	1,500	1.68	100	0.10
株式会社北越銀行	1,484	1.66	464	0.18
モルガンスタンレーアンドカンパニーインク	1,434	1.61	—	—
モルガンスタンレーアンドカンパニーインターナショナルリミテッド	1,338	1.50	—	—

- (注) 1. 出資比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。  
 2. みずほ信託退職給付信託東京精密口再信託受託者資産管理サービス信託の持株数4,592千株は株式会社東京精密が同行に委託した退職給付信託の信託財産であり、その議決権行使の指図権は株式会社東京精密が留保しております。  
 また、当社は株式会社東京精密の株式65千株 (出資比率0.16%) を所有しております。  
 3. 上記以外に自己株式14,537千株があります。

## 所有者別株式分布状況



## 株価と出来高の推移 (平成17年10月～平成18年9月)

年・月		平成17年			平成18年								
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
株価	高値 (円)	745	888	987	994	991	971	979	961	785	779	745	750
	安値 (円)	682	761	851	840	769	773	878	720	655	634	667	650
出来高 (千株)		13,222	19,408	13,696	12,585	12,854	15,019	8,930	15,255	17,466	16,132	13,365	11,757

# 会社の概要 (平成18年9月30日現在)

- 商号 株式会社ツガミ
- 設立 昭和12年3月
- 本店所在地 東京都中央区日本橋掘留町1丁目9番10号

• 資本金 10,599百万円

• 従業員数 422名

## • 役員の状況

取締役	取締役	西嶋尚生	常勤監査役	大宮郁士
取締役	取締役	菊池克治	監査役	梅岡匡爾
取締役		宮本一徳	監査役	渡邊光一郎
取締役		成沢忠	監査役	藤森一雄

## • 本社・工場

本社	東京都中央区日本橋掘留町1丁目9番10号
長岡工場	新潟県長岡市東蔵王1丁目1番1号
信州工場	長野県佐久市中込3600番地

## • 国内営業拠点

東日本営業部(東京)	仙台営業所
北関東営業部(大宮)	高崎営業所
諏訪営業部(諏訪)	長岡営業所
中部営業部(名古屋)	日立営業所
西日本営業部(大阪)	信州営業所
	浜松営業所
	広島営業所
	福岡営業所

## • ツガミグループ

- 株式会社ツガミマシナリー
- 株式会社ツガミシマモト
- 株式会社ツガミ総合サービス
- 株式会社ツガミツール
- 株式会社ツガミプレシジョン
- 津上精密机床(浙江)有限公司
- ツガミ(タイ)

(注) 平成18年10月1日付で株式会社ツガミ総合サービスと株式会社ツガミツールは合併し、社名は「株式会社ツガミ総合サービス」となりました。

## 株主メモ

事業年度 定時株主総会 剰余金の配当の基準	4月1日から翌年3月31日 6月 期末配当の基準日は、毎年3月31日 なお、中間配当を実施するときの中間 配当の基準日は、毎年9月30日
株式の名義書換 株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同事務取扱場所 同送付先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 郵便番号 137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
公告方法	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本支店 電子公告により、当社ホームページ ( <a href="http://www.tsugami.co.jp/">http://www.tsugami.co.jp/</a> ) に掲載 いたします。 なお、やむを得ない事由により、電子 公告によることができない場合は、官 報に掲載して行います。
上場証券取引所	東京証券取引所、大阪証券取引所

## お知らせ

株式に関するお手続き用紙（届出住所・印鑑・  
姓名等の変更届、配当金振込指定書、単元未  
満株式買取請求書、名義書換請求書等）のご  
請求につきましては、左記株主名簿管理人に  
てお電話ならびにインターネットにより24時  
間受け付けておりますので、ご利用ください。

電話（通話料無料）

0120-244-479

（三菱UFJ信託銀行本店証券代行部）

0120-684-479

（三菱UFJ信託銀行大阪証券代行部）

インターネットアドレス

<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

なお、株券保管振替制度をご利用の株主様は、  
お取引口座のある証券会社にご照会ください。



古紙パルプ配合率100%再生紙を使用しています



地球環境に配慮した大豆油  
インキを使用しています